

荒川白門会

(第3号)

編集・発行 中央大学学員会東京荒川区支部事務局



来年こそは、コロナが収まり、支部旗の下、楽しく集まりますように！



「令和2年を振り返って」

荒川区支部支部長・鈴木貴太郎



一人おひとり今年を振り返ってみればまさに「コロナ」につきますね。何の行事も行えず、ゆっくりと盃を傾ける事すらできなかった今年。極端かもしれないがただただ巣ごもりの一年という以外に言葉が見つかりません。

しかしながら「闇が深ければ深いほど暁は近い」との箴言を胸に令和2年に期待したいと思えます。校歌にもありますように「いざ起て友よ時は今 新しき世のあさばらけ」を胸に刻み、進んで参りましょう。

「箱根駅伝に向けて」

荒川区支部幹事長・並木一元



昨年鈴木支部長始め中央大学卒業生の熱意をもって結成された荒川白門会。本年こそ飛躍充実の年と思っておりましたが「コロナ禍」での活動自粛、残念です。落ち着くのを待って改めて会員の皆様と盛り上げていきたいと思えます。

さて明るい話題、「箱根駅伝予選会中央大学2位通過、本選出場。」正月の楽しみができました。

今回は9年ぶりのシード権を獲得、そして数年で悲願の優勝。そんな初夢を見た後テレビ応援を決めています。昨年のような荒川白門会応援団の現地応援はできませんが会員一同心をつなげて応援しましょう。PB（プライベートベスト）続発の選手諸君の中でズバリ注目は1年生ルーキーの吉井大和君。本年5000mアンダー20才日本記録達成、そして今月行われた日本選手権3位。久々のエース候補を中心に大物食いを期待しています。皆様お元気で過ごしてください。



「もんじゃと心意気」

荒川区支部副支部長・阿部信行



子供のころ貧乏所帯のおやつと言えば「もんじゃ」である。しかし初見の人はこれが食べるものだとは思えないだろう。しかも食べるときは、はがしを使ってすくって食べるに違いない。あれはもんじゃが焼けたところをはがしに押し付けて、くっつけた上で食べるのが作法である。

また「もんじゃ」は「文字焼き」をその語源とする説もあり、従って「もんじゃ焼き」と書いてしまっっては「文字焼き焼き」となって重複表現となろう。我が家のもんじゃは隣家が乾物屋だったことから、干しえび、さきいか等々が入り、それなりにいい味だった。そのことが小生の現在の味覚のベースを成しているのは想像に難くない。(すなわちそう大したものではない)

そしてこの仕上げのソースの味加減は、叔父が独占していて他の誰に任すことはなかったのである。

一方近所の駄菓子屋のもんじゃには厳しいものがあつた。五円か十円を握りしめ店に行つて頼むと、それはまるで水そのものと見間違ふような代物が出てくるのであつた。キャベツの一片(ひとかけら)があつたように微かに記憶している。

かつて浮世の義理から、絶対に行くまいと誓つていた都内某所に足を踏み入れた。それはもんじゃ発祥の地を自認する荒川区民としては、フライドにかけて彼の地においては決して口にすべきものではないと考へていたからである。

その時は彼の地のお店数件に、故あつて予約の電話を入れた。なんと断られた。並べという。有名店だからかもしれないが、もんじゃが並んで待つて食べるものだということはこの時はじめて知つた。小生にとっては既にこれだけでもんじゃの存在性の否定である。それで当日は、人が並んでないところに入った。高い!この価格帯

は国民食の値段ではない。次に巷間言われているように土手を創るかどうか、試しに店の人に焼いてもらった。やはり土手を作つた。これも荒川流とは作法が違う。以下この道五十余年、町屋の老舗「浜作」の名物女将山口八重子さんの言を借りよう。

「味の決め手といえば、焼き方も重要です。混ぜた後に鉄板が程良く温まつた頃を見計らつて威勢良く流し、小さなヘラ(ハガシ)で焼けた所から食べていくのが荒川流です。この焼き方は鉄板の上で混ぜないので、もんじゃが糊のようになりません。また、味が均一にならないので、部分ごとに味付けが楽しめるのが魅力です。荒川流は「どて」を作らずスマートで格好良いですよ。荒川にはもう土手がありますから、いらないんですよ(笑)」「荒川ゆうネットから引用)なんと小気味よい響きだろう。これぞ荒川の心意気である。

これをお読みの貴方、是非一度、八重子女将のもんじゃをご賞味あれ。小生のお勧めは「餃子もんじゃ」です。はまりますよ!

【役員名簿】

	役職	氏名	卒業年	学部
1	顧問	荻野 弘康	1959	商
2	顧問	佐藤 明良	1961	理工
3	顧問	野入 納	1962	法
4	顧問	堀江 吉明	1965	商
5	顧問	松丸 和夫	1977	経
6	相談役	佐藤 安夫	1978	経
7	相談役	斎藤 暢夫	1959	法
8	支部長	鈴木 貫太郎	1969	法
9	副支部長	赤石澤 健志	1968	経
10	副支部長・会計監事	片岡 正光	1973	商
11	副支部長	大貫 健次	1974	理工
12	副支部長	渡辺 敏行	1974	文
13	副支部長	矢吹 誠	1976	法
14	副支部長・会計	阿部 信行	1979	商
15	幹事長	並木 一元	1978	法
16	副幹事長	吉井 功	1977	経
17	副幹事長	掛川 良和	1980	商
18	副幹事長	濱島 明光	1982	法
19	副幹事長	越間 秀男	1987	文
20	副幹事長	本木 理恵子	1999	法
21	副幹事長	桂 やまと	1999	文
22	副幹事長・会計	赤池 照子	1993	商
23	副幹事長・事務局長	小原 実	1984	商
24	副幹事長・事務局次長	北川 孝行	1992	経
25	副幹事長・事務局次長	木村 信男	1990	理工
26	幹事	前田 晃	1969	商
27	幹事	原田 和彦	1970	法
28	幹事	蓮本 猛	1971	法
29	幹事	渡辺 和利	1976	商
30	幹事	奥村 泰久	1976	法
31	幹事	平野 敬一郎	1979	法
32	幹事	佐野 公一	1981	法
33	幹事	大島 淳一	1981	理工
34	幹事	田中 照英	1982	経
35	幹事	仙波 正弘	1984	商
36	幹事	菊地 英治	1989	法
37	幹事	大山 俊哉	1990	法
38	幹事	小瀬 幸雄	1998	法
39	幹事	崔 光日	1998	法学研究
40	幹事	園田 悠子	1999	法
41	幹事	赤塚 直徳	1999	法
42	幹事	猪瀬 昇	1974	商
43	幹事	福田 晴通		
44	幹事	野村 知栄	1996	商
45	幹事	沢野 忠	1970	法
46	幹事	湯口 俊明	1978	商
47	幹事	高橋 幸男	1964	法